石櫻新聞

発行所
盛岡市長田町
岩手高等学校
岩手中学校
出版委員会
責任者　畑中幸雄
印刷所
川口印刷工業株式会社

学校行事予定

△終業式	7月20日
△夏季休暇	7月21日より
△夏季講習	7月21日より
△日報学力コンクール	7月28日
△登校日	8月6日
△始業式	8月20日

石桜会総会開かる

本年度活動方針発表

予算決定は部長会で

◇……今年度の第一回総会が、去る五月二十四日、午後二……◇
◇……時より本校講堂において、行なわれた。この総会で……◇
◇……は、総会を通さずに部長会議によって予算案を決定……◇
◇……することや、昨年の生徒会活動についての報告・各……◇
◇……種委員会の本年度活動方針について発表があった。……◇
◇……議事進行のまずさなどもあり、あまり活発な討議は……◇
◇……なされなかった。……◇

本年度は会長、副会長、書記の三役が全員新人であったが、どうやらうまくはこんだ。

先づ会長の工藤君より「昭和四十年度生徒総会を開きます」という旨の挨拶があり、会の幕が切っておとされました。

次に議長の選出では、執行部が選出した運池君が異議なくみとめられた。つづいて、執行部より、本年度は予算総会を開かずに部長会議に於て予算を決定し、代議員会の承認でもって予算総会の代わりとしてはしいという議題が出され賛成多数でもって承認された。

続いて前半度副会長の三上君より昨年度の生徒会活動についての報告があり最後に各常任委員会よりの本年度の活動方針がしめされた。先づ、執行部よりの活動方針として、会長より螢光灯を高校各級に三本づつ付けたい、下駄箱の修理、投書箱を設けたい、又生徒諸君の生活態度をよくして自重するように等の発表があった。

螢光灯の件については、このあと執行部が学校長に会い、要望した結果、中間試験中に各学級に三本づつとり付けられた。

次に生活委員会からは、パン販売、学習委員会からは一日一話の黒板設置、図書委員会から必読図書の作成、出版委員会から新聞発行、文化委員会から小文化祭開催、体育委員会から校内体育大会開催等の旨が発表され質疑応答に入った。

会員の一人より早弁についての質問があった。他はなかったこともなく五時前に散会した。本年度の総会は中学校が騒いでばかりいて、又質問もあまりなく低調の総会であった。

寄稿　今年度の抱負

石桜会々長　工藤和夫

長年の宿願であった規約改正が行われてから四年経た今日当然活発であるべきはずの生徒会が不振な原因はどこにあるだろうか。

その根本原因は利己主義にあると思います。

勉学ということは我々学生に課せられた使命でもあり本分でもあります。そして当岩手高の場合には、普通科である関係上当然大学進学が考えられ、大多数の生徒は進学の意気に燃え、日夜努力しています。進学!!この重荷が受験生を少しずつ変えてゆきます。「自分は大学へ入れた時に最大の喜びを得るのだ。そのためには高校時代を犠牲にしてもよい。結局最後に頼れるのは自分の力以外にないのだ。」この考えが受験生を利己的にしていくのです。他面このような雰囲気についてゆけない者が自己卑下からしだいに反発的になります。そして結局はみんなの気持がまちまちになり、自分さえよければよいという考えに達し勝手な行動をとるようになるのです。この事は普通高校の特色であり、今の世の中からすれば当然の事かもしれません。

しかし集団生活に於いては互いに協力し合い、助け合っていくのが本当の姿ではないでしょうか。複雑な集団生活の前奏期ともいうべき高校生活を利己的に過ごすという事はいへんなマイナスです。自己を大切にしながらも集団のなかの一員（学生）であるという事を常に念頭において行動するべきだと思います。

生徒全員が協力し合い各々が自分の仕事に責任を持ちその仕事を完全に為し遂げるならば、現在の様な不活発で権威のない生徒会を脱皮して生徒会本来の姿である自主性のある活発な行政機関となるであろう。

我々の手で理想的な生徒会を育てあげ（その生徒会をフルに活用して自由な楽しい学校生活を送ろうではありませんか。生徒会の土台となる諸君のよき協力をお願い致します。

本年度予算決定す

総額　一、六八九、四七二円

本年度の予算は六月十七日に行なわれた代議員会で承認されたことにより最終的に決定された。

本年度の予算は百六十万という空前の額に上りましたが、学校側よりの援助が大幅に増えていることでありますが、又遠征費も今までは学校側より二十万以上の援助があったが、それも打ち切られ石桜会予算から出したことである。その他予備費、積立金等もふえた。本年度の年度予算の大きな特徴はこの三つである。各部はこの予算を最大限に使い、けんとうすることを望みたい。

なお来年度からはPTAからの援助二十万円もうち切られる可能性があるので、今年よりは苦しくなると思います。

本年度の予算は六月十七日に行なわれた代議員会で決定した。これは昨年までの場合は大体これをもとにして、又PTAの予算案原案を作成するにあたって、各部の実情をよく調べることにした。調べた結果は文化では大部分、体育では数部を調べた。文化部は昨年度より十万も援助予算で著しく変わった点は各委員会とその他の予算額が大体増えていることである。委員会に於ては、毎年学校側より出版委員会に十万円もでていたのが、今年からはそれがなくなったために、石桜会予算より七万六千円余を出したことで決定した。これは昨年までの学校側より二十万以上の援助があったことである。

又、昨年と同様、予算総会を開かないことを会員から承認してもらい、部長会と代議員会の決定でよいということになった。本年度の予算で著しく変わった点は各委員会とその他の予算額が大幅に増えていることである。委員会に於ては、毎年学校側より出版委員会に十万円もでていたのが、今年からはそれがなくなったことである。

昭和40年度石桜会予算

部門	予算額
委員会	
執行	2,077
代議	0
生活	1,811
学習	4,580
出版	79,088
図書	30,020
文化	1,565
体育	4,430
小計	123,571
文化	
弁論部	3,443
物理部	19,100
生物学部	5,600
化学部	10,900
地学部	4,400
絵画部	4,000
写真部	4,000
社研部	3,500
ブラスバンド	10,000
音楽部	25,300
映画部	4,385
演劇部	9,891
英会話部	1,479
小計	201,468
体育	
陸上競技部	37,390
水泳部	52,970
庭球部	40,310
卓球部	40,000
ラクビー部	55,450
籠球部	57,000
排球部	45,800
送球部	39,270
硬式野球部	139,105
軟式野球部	32,000
山岳部	38,920
体操部	44,001
スキー部	25,980
ホッケー部	73,050
スケート部	15,800
柔道部	41,126
剣道部	27,800
小計	805,972
遠征費	370,000
雑費	23,706
謝恩基金	5,500
予備費	18,255
積立金	110,690
運動会・文化祭費	40,310
小計	558,461
総計	1,689,472

おらが学級

……Ⅱ　A……

起立!礼!シーン。静かなものです。これが我が三Aである。休み時間でも騒がずに机に向かっている（ふりをしている）と学校教育の模範といえよう。

総勢三十六名。これじゃ先生も教えがいがないし生徒も受けがいがないだろう。我が校教育の模範といえよう。

だが、何事にも害はつきもの。この少数教育にも弊害（?）はある。とにかく内職等というものはなかなかできそうにない。又、予習をかかせないこともそうだ。少ないから一日に一回は必ず当たる。特に数学英語、日本史等はそうだ。だがそこは勤勉家の我々のこと。前もって参考書（?）で予習してくる。この参考書絶対不可欠なもので、毎日使う。勤勉ですからね。切れてです、残念だ、ジー、起床!礼!　パクパク?（三上）

……Ⅱ　C……

いや静かですよ（毎夜遅いものでスタミナ不足で）全然動きませんよ。だからといって「某先生」いい加減にやることもできない。小熊さん」容易じゃないですよ。でも大勢は質問なんかしませんよ（何しろ疲れているもので、少し静かにしてくれますか、安眠妨害だ）。それから、あっ時間切れ。

面目な我々にも穴があるもの。特に水曜日、体育の次の時間は「某先生」と来ると、議論しているのだから、「狭き門」一九となって「狭き門」を突破しようという意気込みが伺える。

先日の校内体育大会にはバレーに見事優勝した。これも他のクラスに見られるような勝つことを第一に考え、一人一種目出場の規定を破るような事はせず、数程の者が参加出来、各種目に善戦健闘した。

市内某女子高との懇談会

女子校の執行部は真剣であった。なんでも今までの学校側の封建的なやり方に反抗して、規約改正にふみきるのだそうだ。会長は黒い顔を輝やかせながら語る。

六月×日、〇日、二回にわたって僕達生徒会執行部は女子校の生徒会執行部の申込みで我が校でデスカッションをおこなった。

論議の内容は、生徒会の組織、生徒会活動の状態、私立学校の悩み、青少年の非行についてが主なテーマであった。すべて女子校の質問に僕達が答えてゆく形式をとって進行。組織については会長から、活動状況については各常任委員から説明した。組織の複雑さ、委員会の種類の多いことに驚いたようだ。生活委員会のあり方、文化・体育委員会のあり方は強くつっこまれた。たしかに生活委員会のあり方はあいまいであり、文化・体育委員長も単にクラブの横のつながりの機関にしかすぎないような気がする。反省材料が多かった。私立学校の悩みについてはお互い共感するところが多かった。青少年の非行については各人の見解の相異で核心をつくところまでいかなかった。これからもこのような会を多くやっていきたいと思う。それについて学校側がよい顔をしないのはおかしい。

夏は暑い。真剣さを持って女子校の規約改正の成功を祈る。

懇談会

つわ者揃いの我が三年C組は、大野先生の下に総勢四十九人という大世帯であり、秩序と規律のある理想的?なクラスと言えよう。しかしどのクラスに見られるような騒々しいことも、騒々しさにもいろいろであるが、我がクラスの騒々しさは傍若無人にただ騒いでいるのでは決してない。勉強に熱心のあまりの賑極さがついこういう結果を生むのである。又、我々の激しい質問の矢は度度、先生方を窮地に追いこむ。これも又勿論、先生方を困まらせようとする考えは毛頭なく、問題を徹底的に追求し、完全に自己のものにしてしまおうとする表れである。特に、国立文科を志望する者が集まっているので文科系科目には、皆目を血走らせ（ちとオーバー）一九となって「狭き門」を突破しようという意気込みが伺える。

先日の校内体育大会にはバレーに見事優勝した。これも他のクラスに見られるような勝つことを第一に考え、一人一種目出場の規定を破るような事はせず、数程の者が参加出来、各種目に善戦健闘した。

……Ⅱ　D……

我校のダークホース的存在こそ我ⅡDである。実力その他の面で三年生にもう一歩という所かな。だが学問の虫だけいるのではなく野球部のエースを初めとして運動部員十数名、その他ネズミだの岩石だのってクラブ活動しているものも多く他の者も夕方遅くまで野球やピンポンで楽しんだ。「よく遊びよく学べ。」に近づこうと努力していることに注目してほしい。むろん例外はあるが。

又他の面では担任鈴木先生の適切なる指導をうけ一年半後の大学入試を真剣に考えそれに備えているのが我クラス全員の真の姿であるかもしれない。（藤岡）

クラスの者は、固い友情と強固な団結力で結ばれ、教室を学力向上と切差琢磨の場とすることに努力している。

又、最後の高校生活を十分エンジョイしながらも、来春の大学入試を控え、悔いなく過そうと誓い合う我々三年C組の面々である。（米谷）

ボタン・帽章・学帽
専門の店　三栄帽子店
盛岡市中央通り二丁目　TEL (2) 5342

メガネの　水晶堂
盛岡市中の橋通一丁目・中央通映画街
盛岡ステーションデパート・サンビルデパート

日本スポーツチエーン
藤澤体育堂
売本店　サンビルデパート　TEL (2) 1445
支店　盛岡市材木町　TEL (3) 1435(代)
支店　花巻市吹張町　TEL 2639

学園展望

長髪問題いかに

最近長髪問題が起き、特に三年A組が中心となって生徒の間で大きな問題に発展して来ましたが、此の問題は、今から八年前にも、一大問題として当新聞に取り上げられた事があり、此度の運動は前にも増して強力な様ですから、当新聞には賛成・反対両派の意見を対照して取り上げる事にしました。

過　経

六月半ば、我々は入学当時から心に持っていた長髪の問題を互いにぶっつけ合い、持ち方は違っていたとしても共通の芯をつかんで一致団結してこの問題について討議し、頭髪の自由を叫びここからこの運動が始りました。その次の日からもとの長髪の件について活躍した三上敬二君の協力を得、着々と計画を練り進めて行きました。警察に行き、いろいろな資料を見比べ、補導官と懇談し、又理髪店に行き、いろいろ尋ねたりして、それをまとめて構想を練りテストで一時中断されたにもかかわらず、皆んな一体で頑張ってついに署名運動にこぎつけました。署名、皆んなで手分けして一週間もかけて行われ、思ったよりは少かったのですが、生徒総数の三分の二とり、まあまあという成績で終りました。しかしここで、一つの障壁につき当りました。それは、石桜会規約の改正は生徒作法要項の改正には適応できないということで、そこで我々は生徒の期待をそこなわぬよう代表を先生方に送り勝つまで戦い抜くつもりです。どうぞ我々に協力して下さいい。又紙上をかりて皆様の御協力に感謝します。

賛成派、署名運動繰出す

一、個人の尊重
個人を尊重しその個性を限りなく伸ばす、これは民主々義の原則ではないでしょうか。

二、校風について
我々の自由を何の理由もなく規制されて、我々をこの悪習ともいうべき古い伝統のからに閉じこめるこの習慣を我々は黙認してしまってもよいものであろうか。岩手高等学校の校風と伝統とをさらに新しく、大きく脱皮するためにもこの風習を廃止すべきではないでしょうか。

三、不良化について
先日我々が警察に行ってきたところ、県警の補導員とのお話し合いによると、"長髪と不良化"は、具体的な統計は出ていないけれども、直接には関係がないと言う事です。

四、クラブ活動について
此の様に、クラブによっては、長髪にすると、非常に有利に成る所が有ります。又、長髪にすると、不利に成る部も極少ではありますが有りますので、頭髪の規制を自由化すれば、この様な生命にも連らなる問題も解消され、現在より安全で活発なクラブ活動になるのではないでしょうか。

五、経済性について
短髪と長髪の料金の違いは、同料金か、三～四十円長髪の方が高いかです。しかるに、短髪の場合、理髪店に行くのは、見た目の良さの限界から、一ケ月に一回、同じく長髪は一ケ月半に一回ですから、経済的にも、直接には関係がないと言う事です。

六、自由化後の条件
○生徒が惰弱に流れた場合、学校側の権告によって、生徒会、生活委員会、応援団が、生徒にはたらきかける。
○個人で、生活態度をしっかりするよう勉める。
右条項を厳守します
○責任者は次の通り。
工藤和夫、藤岡範夫、中坪正、斎藤健一、肥田敏比古、古山明広。

ラグビー部、スケート部、ホッケー部においては、危険防止に役立ちます。又、演劇部においては、クラブ活動に、大いに有利です。

反対派

今、我校に於ては長髪運動が盛んである。のばしたい。だが、何故無理してまでのばさねばならぬのか。短髪でよいではないか。遠くから見ても高校生だなあとわかるし、清潔に見えるし、運動したときにも洗いやすい等、いろいろな利点がある。そこに何故したいのか。他校生に対して引目を感じるのか、そうじゃあるまい。個性をのばしたいから。それなら外見よりも内容の方をのばしたらよい。私がこういうと、賛成者は、君がのばしたくなかったらのばさなければよいし、我々はのばしたいからのばす。自由にすれば問題はないではないか、と言う。なるほど、もっともな意見である。しかし、考えてみたまえ、統一した方がよいではないか。大体、髪などをのばすと、帽子をかぶらなくなる。それじゃ、統一した方がよいともなる。これじゃとこまでいってもきりがない。それに何といったって「短髪」は我が岩手高校の伝統である。伝統、伝統で我々をしばるな、と賛成者は言うだろう。しかし、この伝統は悪いだろうか。改める必要があろうか。やはり我が校は「短髪」に統一しておくのが好ましいと思う。無理して長髪にする必要もないのではないか。

長髪問題に付いて、校長先生に御意見を求めたところ、意見の代りに次の様な事をお話しになりました。

現在校内生徒間で大きな問題となっている長髪運動に関して記者が校長にお聞きしましたが、それに付いて校長は、「長髪運動が有り、生徒が署名を集めていると言う事は、二、三日前迄に聞いて知ったが、其の事に付いて思う事を書けと言われても私は何も書けない。生徒が署名を集取していると言うが、署名を集めても良いかと、学校側に許可を求めたのかね？私の所に許可は本当に必要なのですかとお聞きしますと、校長は少し怒った様な強い調子で、「何事にも規則が有り、規則が有る事は言うまでも無いだろう。だから此の事に対して規則は有り、許可にだって規則に従わずも要る。其の規則に従わずして長髪を許せなど問題外だ。又、現在短髪で有るのだから、此また長髪問題外である。又、生徒は、此の生徒作法要項は先生が作った物だとか言っていると聞くが、其の様な事は関係ない。前に述べたが、日本の様な根本的な事を守れない様では、生徒たる資格がない。其の様な生徒には学校を退学してもらうより方法がない。」と述べられた。記者の私として此の校長の言葉（テープレコーディングしたのではないから、一言一句校長の述べた言葉と同じとはいえない。こちらで主要な所を書いたもの）にも不満な所が有ったが、私としては、此の事に関して、返す言葉は何も有りませんでした。とにかく、校長は、長髪に統一だろうが、長髪、短髪自由だろうが、そんな事は問題外であり、根本的に許せないと言われているのだから、いずれにしても、今後の長髪運動には非常な難題がのしかかって来る事は争えない。

ね。」又、記者自身は、許可を取らねばならぬと言う事が有るなどと言う事を知らなかったので、其の様な規則が有る事は言うまでもない。だが、何故無理してまでのばさねばならぬのか。短髪でよいではないか。遠くから見ても高校生だなあとわかるし、清潔に見えるし、運動したときにも洗いやすい等、いろいろな利点がある。そこに何故したいのか。他校生に対して引目を感じるのか、そうじゃあるまい。個性をのばしたいから。それなら外見よりも内容の方をのばしたらよい。私がこういうと、賛成者は、君がのばしたくなかったらのばさなければよいし、我々はのばしたいからのばす。自由にすれば問題はないではないか、と言う。なるほど、もっともな意見である。しかし、考えてみたまえ、統一した方がよいではないか。大体、髪などをのばすと、帽子をかぶらなくなる。それじゃ、統一した方がよいともなる。これじゃとこまでいっ

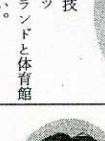
新任紹介

四月一日付けで、六名の先生が本校に着任された。そこで出版委員会では新任の先生方に色々と伺ってみました。次に①出身地、②出身校、③担当教科、④趣味、⑤現在思う事、⑥尊敬する人の順で紹介致します。

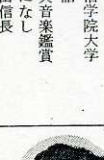
梅村実先生
①青森市
②青森高等学校
岩手大学
③数学
④音楽、切手
⑤とにかくうるさい。ゆっくり落着いてほしい
⑥別になし

菊池務先生
①盛岡市
②岩手高等学校
明治学院大学
③英語
④古典音楽鑑賞
⑤別になし
⑥織田信長

菊池軍次先生
①釜石市
②岩手高等学校
日本体育大学
③体育実技
④スポーツ
⑤広いグランドと体育館がほしい。
⑥クーベルタン



菊池治雄先生
①盛岡市
②岩手高等学校
弘前大学教育学部
③音楽、国語
④レコード鑑賞
⑤現在、チェロをやっているがもっと上達したい事。
⑥ベートーベン



沼田英雄先生
①横浜市
②日本大学
③社会
④ポピュラー鑑賞
⑤世界平和。福祉国家実現。
⑥偉人夫々に特徴があって特定の人を決められぬ。古さから釈迦？

山岸道利先生
①岩手県岩手郡渋民
②岩手高等学校
東北学院大学
③英語
④電気。スポーツならなんでも。
⑤よりよい教育をしたい
⑥福沢諭吉

欧州旅行にあたって

中村嘉明

私は、生徒諸君に授業の中で、卒業生にも、日本人は何かしら国際的視野から物事を洞察していく態度に欠けている。井の中の蛙になってはいけない、国際人になるように誰れもが努力するべきだと言ってきました。スイスではホテルのボーイになるためにろ、三か国語を話せなければならない、日本人は地理的環境から、あまり産話ができるやら、あまりあてにしないで待っていて下さい。

これを容易にしたのです。若い君達には、前向きの将来しか存在しない、国際交流の場をつくれる、その準備を君達は、教室、家で毎日やっているのです。私はいま、ささやかな夢を現実化しようとしてますが、金もないプロレタリア、そしてスピードのあるマッハ八十五の欧州旅行！何んの御土産話ができるやら、あまりあてにしないで待っていて下さい。

各部門に熱戦

校内体育大会開かる

高体連に相次いで校内体育大会が、去る六月二十二日より二十六日までの五日間、高校の部は卓球、送球、排球、庭球、の四種目、中学の部は、籠球卓球の二種目に、各クラス職員、寄宿舎が参加、心配された天候の中で熱戦が繰り広げられた。

◎高校の部
卓球　①三年B組
②一年C組

◎中学の部
排球　①三年C組
②教員
籠球　①②二年甲組A
卓球　①三年甲組
②二年乙組

送球　①三年A組
②三年D組
③三年B組
庭球　①教員
②寄宿舎
③三年B組
三年C組

新刊書紹介

◎寄贈図書
奥州大学より"人の研究"
"新制会計学"
川村洋一氏より"詩集パラは生きていた"
竹中育英会より"安倍能成集"

◎新刊書
傾向と対策シリーズ（旺文社）・全15冊・英語問題の徹底的研究昭和40年度（研究社）・社会（旺文社）・世界解前、後（旺文社）・世界年鑑一九六五年版（共同通信社）・三木公久著高校生としての人生観（青春出版社）・日本の歴史（中央公論社）

テクニカラー・シネマスコープ
神秘と謎を秘めた海底に挑戦する激烈な熱情と豪快な大冒険魂を描いて感動を呼ぶ大海洋スペクタル巨篇！
カーク・ダグラス
ジェイムズ・メイスン
海底二万哩
夏休みに贈る超大作
盛岡 中劇
愈々27日大公開！

ノートの整理に……
筆記に大切なセーラー万年筆をパイロット……
坊っちゃん文具店
盛岡市本町1丁目中央
TEL ②4532

ミノルタSRに新製品登場
○より小型にコンパクトになりました
○かるくなりました
new MINOLTA SR—1 ¥38,500
new MINOLTA SR—7 ¥51,500
カメラカラープリント
大通文化堂　大通（川徳大通店前）TEL 2—9716

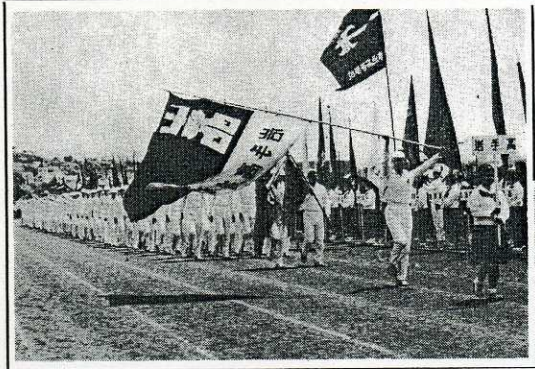
中古書籍・参考書の店
書籍、雑誌買い入れます
東光社書店
盛岡市紙町上の橋際
TEL ③5926

登山用品豊富取揃え
山とスキーの
長谷川スポーツ
中央通2丁目　電話 2—2506・0388
支店 盛岡ステーションデパート内

高校総合体育

高校スポーツの祭典

第17回　高体連行わる



体操・水泳・卓球優勝成る

佐藤啓二郎表彰さる

高校スポーツの祭典、第十七回県下高等学校総合体育大会は、去る六月五、六、七の三日間盛岡市を中心として史上最大の県下七十三校、七千余名の若人が参加し、華々しく展開された。開会式は五日午前十一時県営グランドに於て挙行。打ち上げ花火を合図に、役員選手の入場行進に移り大会々長挨拶、次いで盛岡二高の三田さんの選手宣誓などがあり大会の劈頭を飾った。本校からはラグビー・水泳・庭球・剣道・送球・排球・卓球・柔道・体操・登山・陸上競技の十一種目に百余名の選手が出場し、名誉と栄冠をかけて奮闘した。尚開会式に於て佐藤啓二郎は卓球種目で優秀選手として表彰された。

輝く三連覇

卓球　全国大会に期待

高体連卓球の部は、六月五日から三日間、盛岡商業体育館で行なわれた。高体連で、一昨年、昨年と、団体戦二年連続優勝し今年は、岩手県初の三連勝を成しとげた。ダブルスは、決勝で、花北の鈴木、小野組と当り、惜しくも二対一で敗れ、第二位に終わった。（尚、佐藤、兼平組は二年連続二位）八月に長崎で、開かれる インターハイの出場権を全種目、獲得した。戦績は次の通り。

決勝で、花北の鈴木を、二対〇と、破り二年連続優勝を成しとげた。個人戦（シングルス）も、五人も出場し、昨年二年生で個人優勝している佐藤が、

○団体戦
準決勝
岩手3—0盛一
決勝
岩手3—0花北
井上　2—0金
佐藤　2—0鈴木
（佐藤　鈴木
佐々木2—0小野）

○個人戦
シングル決勝
佐藤　2—0鈴木
ダブルス決勝
（佐藤　鈴木
兼平1—2小野）
佐々木　—　小野
兼平　—　高橋

今大会を顧りみて

総評

まず第一に感じたことは、岩手県初の三連勝という大偉業を成しとげ、主将佐藤（啓）は昨年度の優秀選手として表彰された。また水泳も、膚寒い頃から水に飛び込み、岩手県初の出場権を全種目、獲得した。戦績は次の通り。

今大会は、大成功に終ったんではなかろうか。県営グランドにおける開会式は、総参加人員三万名を越え、四十五年度に本県で開催される予定の国体のリハーサルとしても充分その役割を果したと思う。競技面においても新記録が続出し、各部門に熱戦がくりひろげられた。その中で我校の活躍は目ざましく、三種目優勝という輝かしい成績を残した。

高カッパパぶりを思うぞんぶん発揮し、これまた四年連続、十四度目の優勝を飾った。昨年盛岡一高に優勝の座をゆずった体操は、大いに奮起して、一高に大差を先輩の残した記録を伸ばすよう切望する。Y・H

堂々盛一を制覇

体操　根本の活躍目立つ

若人の健康な美を極度に発揮する体操競技は六、七日二日間盛岡市体育館において真紅の優勝旗をかけて争われた。第一日目は規定問題演技終了が夜八時すぎまで行われた。二日目は自由問題が行なわれたが前回の疲れも見せず実力を充分に発揮し二位の盛岡一高を十五点もの差をつけて優勝。個人別種目別にもそれぞれ力を発揮して体操・岩手高の名をほしいままにした。尚八月宮崎で行なわれるインターハイ出場権を獲得した。成績は次の通り。

○団体
一位　一一三、四五点
○個人
一位　根本鶴二
三位　吉田　茂
四位　田村雄考
○種目別優勝
鞍馬　吉田　茂
平行棒・吊環根本鶴二
鉄棒　田村雄考
○特殊科目
○クライミンググローブ
一位　根本鶴二
○タンブリング
二位　舘沢博明

今後の活躍に

剣道　大いに期待

ビーは近年になくよくまとまり、F・Wは県下随一とまでいわれ、準決勝で黒工に破れはしたが、伝統ある校技ラクビーの名をぞんぶんに発揮した。

その他庭球、柔道、剣道等も、もう一歩というところで惜しくも破れたが、今後の活躍が大いに期待される。陸上、送球等はあまりふるわず、なお一層の努力が必要と思う。選手数が少ないにもかかわらず、これだけの成績を残したことは、なみなみならぬ努力があったことと思う。後輩諸君は、なお一層の努力し、先輩の残した記録を伸ばすよう切望する。Y・H

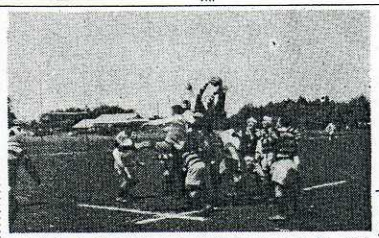
盛岡三高体育館で三十余校が参加し、団体戦、個人戦に熱戦がくりひろげられた。我校は団体戦はよく健闘したが準々決勝で破れ、個人戦も高橋（隆）が準々決勝で惜敗した。一回戦

本校4—1大船渡工
二回戦
本校4—1水沢高
準々決勝
本校1—4福岡高

今大会に出場したのは、全員一年生であるので、今後が楽しみだ。

準決勝で惜敗

ラグビー　決勝進出はばまる



ラクビーの部は去る五、六日の両日水沢高校グランドで行なわれた。一回戦本校は宮古水産高と対戦し本校のキックオフで開始された。前半本校は固くなっていたが、22分敵がパントを上げたのを25ヤードより武蔵がとり桜井、藤沢ときれいにパスが廻りトライ成り前半3—0とリードした。後半は本校は落ち付きをとりもどし4分T・B須藤が独走しトライ、9分F・W小野寺がトライ、14分F・W三浦がトライ、19分には敵のパスミスを三浦、桜井、人見、須藤とパスがまわりトライ。22分にはセンターラインイン付近から大家がたくみなカッティングで25ヤード付近まで持っていき味方が、ローして細越がトライして、後半15—0で計18—0で大勝した。

準決勝は黒工と対戦。一時30分本校のキックオフで試合が開始された。前半8分にトライされたが、17分細越のペナルティゴールが失敗したがF・Wがつこみ佐藤がトライ成りゴール成る。25分またトライされ前半5—6となった。後半10分25ヤード前のタッチから我F・Wホローしながらつっこみ難波がトライ。15分又、トライされ後半3—3で計8—9で惜くも黒工の前に破れた。しかし、我校は主将熊谷を中心によくまとまり、準決で破れはしたがよく健闘した。

一回戦
本校18（3—0、15—0）0宮古水産
準決勝
本校8（5—6、3—3）9黒沢尻工

素晴しい活躍ぶり

水泳　四年連続・通算一四度目

高体連水泳の部は、七月三日午前八時半より二戸郡金田一村の金田一温泉プールで男子二十、女子十三校から二百七十人の選手が参加、二日間にわたる水しぶきの熱戦の幕をあけた。

一日目の総合成績は我校四四点で、他校をリードした。

一日目の成績次のとおり
△二百米自由型　③若柳
△千五百米自由型①斎藤
△二百米背泳　③遠藤
△二百米平泳ぎ　④坂東
△二百米個人メドレー　①城戸
△四百米リレー　⑥小谷地
①（坂東、若柳、遠藤、斎藤）
△四百米メドレーリレー
①（坂東、城戸、斎藤、若柳）

二日目の成績次のとおり
△四百米自由型　②遠藤
△百米背泳　④坂東
△百米平泳ぎ　①城戸
④照井
△百米バタフライ②斎藤
△八百米リレー　①（遠藤、坂東、若柳、斎藤）

この結果、二日間の総合成績で七五点、通算十四度目。四年連続優勝をした。

部員が他校にくらべて非常に少ないように思われる。部員が多ければ試合選びも、もっと楽にできたのではないだろうか。

練習の余地あり

送球　後半闘志欠く

高体連、送球の部は、六月野岳を出したが試合経験五、六日の両日、上田小乏しく上りぎみだった。のグランドにて、男子四チーム、女子五チームで行なわれました。従来どうりリーグ戦で行なった。五日一回戦、一番やりやすい盛商と対戦、本校はG・Kの石塚の転校に悩んだ。坂田、足と技能との、コンビがうまく行かないようであった。

本校　13—25　一高

三位決定戦は、花北と対戦し、我校は前試合の疲れが残り完敗した。

本校　13—28　花巻北

無念の涙をのむ

柔道準決勝で敗退

柔道の部は五、六、七日の三日間県下三十二校が参加し、各校優勝めざして試合に望んだ。

○一回戦
本校　5—0　一関商高
先鋒　間瀬　○
次将　武藤　○
中堅　藤根　○
副将　小山田　○
大将　島川　○

先鋒間瀬が先々良く小内でくだし次将武藤も全員が日頃の実力を十分に発揮し、五—○と軽く破った。

○二回戦
本校　3—0　釜石工業
先鋒　間瀬　引分け
次将　武藤　引分け
中堅　藤根　○
副将　小山田　○
大将　島川　○

先鋒間瀬　次将武藤共に決定的な技が出ず引分けに終ったが、中堅藤根が小内を取り終始リードを保ち優勢でくだし、続いて小山田、島川も調子を上げてくだして3—0で釜石工業を破った。

○準々決勝
本校　1—2　一関一高
先鋒　間瀬　引分け
次将　武藤　×
中堅　藤根　○
副将　小山田　引分け
大将　島川　×

準々決勝では一関一高と対戦し、ここに勝利を得て準決勝に進出しようとあせったせいでもあるまいが本校は落つきを失なった。先鋒間瀬引分け、次将武藤は調子が悪くはね腰で敗れたが中堅藤根よく奮起して寝技、はね腰と技を連発し軽く破った。大将島川は奮闘したが一本背、寝技に敗れ、1—2で惜敗した。

三回戦
石川・藤原組　4—2
準々決勝
石川・藤原組　4—2
準決勝
石川・藤原組　1—4

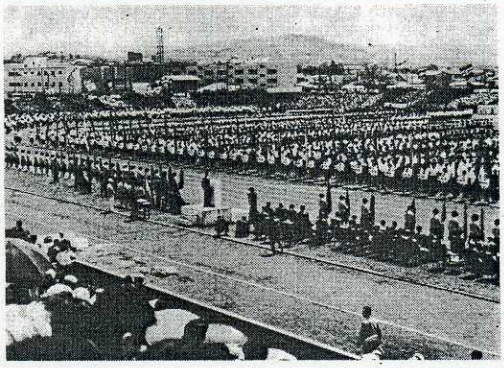
石川・藤原組三位

庭球団体戦もう一息

庭球は五、六、七の日三沢口・夏堀組も終始リード日間、清交会、農学部両コートに於て行なわれた。

第一日目は団体戦が行なわれ、一回戦黒沢尻北高を3—0、二回戦強敵盛岡商業を3—0と軽く破り、準々決勝は一関工業とあたり、まず石川・藤原組が出たが石川の調子が悪く実力を出し切らず破れ、次の戦で若干敗したが、石川・藤原組は一回戦黒沢尻工に破れたが決勝で黒沢尻工に破れたが三位に入賞。しかし、二年生ながら八月大分で開かれるインターハイの出場権を獲得した。結果は次の通りである。

○団体戦
一回戦
本校　3—0　黒沢尻北
二回戦
本校　3—0　盛岡商業
準々決勝
本校　0—2　一関工業
○個人戦
一回戦
石川・藤原組　4—0
二回戦
石川・藤原組　4—1
本校　0（13—15）2　花巻北
一回戦
本校　0（13—15）2　花巻北



目立つレベルの低下

陸上競技再起を望む

あらゆるスポーツの基礎であり主脈である陸上競技は他種目より一日早い、七月四日、ハンマー競技を皮切りに、四日間、男女二十競技、約八百名の選手によって、競争われた。

昨夜の雨による、悪コンデションのため、我校は以外と振わず、低調であった。

二日目に行なわれた男子四百予選に、藤田が出場、第一次予選、二次予選と突破した。第二次予選で出した記録は、昨年度県内三位の記録であった。しかし、準決勝では、疲労のためかタイムが乱れ惜しくも失格となった。三日目、阿部、藤田の両君が、二百米障害に出場、阿部は、準決勝まで行ったが、失格となった。続く八百米に、高木、中田が出場したが振わず失格。フィールドでは、上柿、小田島が走巾跳に、大森が走高飛に出場したが、ともにもう一歩という記録で敗れた。四日目、二百米に遠藤が出場、予選は軽く突破したが、準決勝で四位となり、決勝に進むことができず失格となった。円盤投に藤田が出場、決勝で八位となった。期待された千六百米リレーも、主力選手の欠場のため入賞をいっした。

この結果、一種目も入賞ができなかった。尚いっそうの努力が望まれる。

善戦空しく

排球敗退

高体連排球の部は、六月五日より、盛岡工業コートにおいて行なわれた。

これまで、市民大会や高体連予選などで四勝一敗の好成績で上り調子であったが一回戦、花巻北高校と対戦、応援団の盛んな声援もむなしく一回戦で惜敗した。

試合は前半十三対十五と惜くも花北にゆずり、後半に期待がかけられたが、あと一歩というところでガンバリが足りず、十三対十五で敗れた。

しかし、今後の活躍が大いに期待される。

私の学生時代

菊池治雄

学生時代の思い出は、その中で特に楽しかったのは毎年行なわれていた演奏旅行です。この演奏旅行は夏休みに入った最初の一週間県内各地を廻って歩くのです。昼は小中学校で音楽教室、夜は一般と高校生を対象に音楽会を開いてその夜の宿泊費をかせぎ出すのです。昼の音楽教室は少なくて三校、多ければ五校から六校で開くわけです。それで皆んなくたくたに疲れてしまうのですが、そこの学校の生徒達が私達のやっていることを真剣にそして熱心に見てくれるので、気分をよくして次の学校へとバスかトラックで出かけるのです。

こんな事をしながら一週間過ごすわけだが、この旅行には、大学の音楽科生と音楽部員全員が参加するので普段の学校生活では分かならかった友人の一面に気が付いたり、話しもしたことのなかった人と友だちになったりでとても楽しいものです。中にはこの旅行中に未来のベターハーフを獲得する者までいます。旅行書館なんか出かけたものです。

菊池軍次

私の学生時代として頭にあることは我々岩高生時代は良い、意味で現在とはちがって時代誰でも持っているものです。英語の担当で英語の事を申し上げますが、高校の頃旺文社の赤尾さんの書いた単語集をもちあるき、高校時代はどうもつまらなかった。学校の事情や、家庭の事情でもしいて高校時代の思い出をあげようと思うと、よく野球の応援に行った事、あんまり応援しすぎて、声帯に異状を来たした、三週間ばかり声が出ず、その時出席の点呼は全くたく困った事、又文化活動として、放送部とPFCに入っており、放送部では雨の中取材にかけまわった事、まちがってスイッチを押し、授業時間に民謡を放送してしまい教頭先生におこられた事、PFCでは音楽部員全員が参加するので普段の学校生活では分かなかった友人の一面に気付いたり、話しもしたことのなかった人と友だちになったりでとても楽しいものです。中にはこの旅行中に未来のベターハーフを獲得する者までいます。旅行書館なんか出かけたものです。

梅村実

私の学生時代と名づくものをふりかえると二十年余りとなってしまう。人生の一番三分の一は学生と名づくものである。ずいぶん親も金がかかったろうと思う。一生懸命に入り高校時代とはかかってはたしてもどせるか心配でならん昨今である……。

高校時代はどうもつまらなかった。学校の事情や、家庭の事情でもしいて高校時代の思い出をあげようと思うと、よく野球の応援に行った事、あんまり応援しすぎて、声帯に異状を来たした、三週間ばかり声が出ず、その時出席の点呼は全くたく困った事、又文化活動として、放送部とPFCに入っており、放送部では雨の中取材にかけまわった事、まちがってスイッチを押し、授業時間に民謡を放送してしまい教頭先生におこられた事、PFCでは音楽部員全員が参加するので普段の学校生活では分かなかった友人の一面に気付いたり、話しもしたことのなかった人と友だちになったりでとても楽しいものです。中にはこの旅行中に未来のベターハーフを獲得する者までいます。旅行書館なんか出かけたものです。

沼田英雄

学生時代はとにかくに目まぐるしく忙しく過ぎ去ったという感じ、私など授業にくいついてゆくために小説等読む時間もなく過ぎました。小学時代は弁護士を夢みて中学は医師、高校になり技師を夢みてたどりついたところが教師共々に良い点、悪い点がありますが、希望というものを学生時代誰でも持っているものです。英語の担当で英語の事を申し上げますが、高校の頃旺文社の赤尾さんの書いた単語集をもちあるき、当時は百円で買えて二冊買って一冊はぼろぼろきれてしまい風呂に入ってもトイレに行っても見たものです。今になって考えると全く面白いことをしたもんだと思います。とにかく何時の世でも同じことですが学生は学問することが第一であることは高校時代にも私の頭の中に入っておりました。

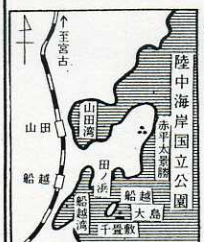
私の学生時代に於て、とりたてて告白？する程の事はない。高校時代の担任は西在家先生であられたので、もし、興味があったら先生におききして下さい。

山岸道利

私は意地張りで、人に世話になるのが嫌いで、大学も親爺のスネをカジることなく卒業したのが、唯一の誇りである。バイトは、新聞配達、デパートの配達、新聞社の給仕兼校正補助、弁当屋の出前等です。短い期間とは云え一応の苦労を経験した事は、私の人生に無限の力を与えて呉れました。苦境に立っても動じない程の胆力が付いたように考える。世に恐れを知らぬ人間程必要なものはないと言うが、私は、そういう心境に一歩でも近づき度いと常に考え行動している積りです。ですから生活態度の悪い生徒を見ると怒りを感じて身体が震えるのを止める事ができない。私は後輩を正しい、世に世話をかけない人間にしたいと考える。石桜精神に則って…。だから、その点を理解して余り反抗しないで欲しい。

以上、テーマから脱線した事をお詫して、ペンを置きます。良薬は口に苦しというそうです。

旅



○…陸中海岸国立公園の景勝地、船越半島、船越大島を紹介します。宮古を経由して一時間ぐらい乗車すると、岩手船越駅に着く駅から右手に細長く見える島が周囲二キロほどの船越、大島、田の浜行きのバスで一〇分ほど行くと船越市場や冷凍工場へ着く。棧橋から五分、荒神神社の金浜海水浴場より船越大島へ五屯ぐらいの遊覧船が夏季中随時運行している。

大島へ着き低い丘を越えた太平洋側の千畳敷きと呼ばれるみごとな景色は、全島花崗岩からなり接触変質を受けた個所も多く岩石は色彩美に富んでいて平らな岩盤が続いている。千畳敷キヤキからの磯釣りは、釣りマニヤにとって手ごたえのあるあぶらめ、そい、どんこあなご釣りなどは腕のみせどころだろう。

○……この島に密生していたタブの木の自成地はタブの木の北限となっている。天然記念物として有名で本来はもっと暖かい所にはえているはずが、風の吹きまわし、でここまでやってきたという御苦労な木だがが見た所椿の木と間違うようで余り変った木ではない。

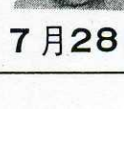
○……陸中山田港の埠頭から観光船で船越半島めぐりの赤平海岸の豪壮な景観は海のアルプスと称されていて大自然の雷感（インスピレーション）を感受させるような理想郷風景だ。

西郷輝彦 ショウ
中元大売出し
7月15日～8月5日
出演者
西郷輝彦
葵ひろ子
高峰かほる
岬えり
西郷剣友会

招待日9月4日
盛岡大通商店街

肉のデパート
精肉問屋
丸岩商店
盛岡・上田 TEL(2)6565・6566

夏休みの2大プレゼント！
久々に登場！裕次郎の型破り先生！
青春とはなんだ
石原裕次郎・十朱幸代・太田博之

あけびろげに明るい小百合のお手伝さん!!
青春のお通り
吉永小百合・浜田光夫

7月28日大公開 盛岡日活